

指 定 管 理 業 務 評 価 結 果 書

1 施設の名称等

(1) 公の施設の名称	母子生活支援施設 倉敷市鶴心寮
(2) 指定管理者	所在地 倉敷市栗坂 8 番地 名 称 社会福祉法人 クムレ 代表者 理事長 財前 民男
(3) 公の施設の所管部署	保健福祉局子ども未来部子育て支援課
(4) 評価対象期間	令和 6 年 4 月 1 日から令和 7 年 3 月 3 1 日まで

2 総合評価結果

(1) 市の評価	指定管理は通算 19 年目であり、引き続き安定した管理運営ができています。 今年度は、職員の勤務体制について、自主事業について、建物の維持管理について重視し評価を行った。 職員の勤務体制については、条例で示された配置基準は満たされていた。また、産休、退職により人員変動が生じる際は、法人と協議し、業務に支障のないよう、人員が確保されていた。さらに、今回の指定管理期間から、看護師の配置が提案された。看護師が配置されたことにより、入所者の困りごと相談を行うなど、心身ともに寄り添った対応が可能となり、安心した生活に繋がっていた。 自主事業については、引き続きおやつを介して、子どもから話を聞く事業を行っているが、おやつの好みやリクエストから、その子の成育環境や背景を知る良い機会にもなっている。また、今年度は、人権について知ることにおき、新たな取り組みとして、母に人権について語り、学ぶ機会を提供していた。次年度はさらに発展させた内容で予定しているとのことで、入所者も職員も一緒に学びを深めていっていただきたい。	総合評価
		S

	建物の維持管理については、建物内の機器の故障や修繕が必要な場合には、遅滞なく市に報告されており、入所者に危険が及ばないよう、優先順位をつけて修繕を行っている。現時点で修繕不可能な箇所については、入所者への影響が及ばないよう、あらかじめ職員でできることは最大限に対応できていた。 今後も引き続き、母子が退所後も地域で安心して生活が送れるように、関係機関と連携し、入所者の自立につながる支援に努めていただきたい。	
(2) 指定管理者の自己評価	自立支援では、前年度に引き続き産前産後支援、就労や子育てに寄り添うレスパイト支援、地域で暮らす退所者を含む地域支援で、母と子が主体的な目標を定め、地域での具体的な生活が段階的に描けるように、福祉事務所、保健師、児童相談所、就労支援事業所等と協働して自立に向けて伴走した。各機関が役割分担を行うことで、利用者が相談しやすい「場所」や「人」を選べるように配慮し課題解決に向けた支援ができた。空室の一室を利用しての補完的保育では、乳幼児のいる世帯の子どもを受入れ、子育てに疲れた時のレスパイトとして利用があった。また、母親の子育てのスキル向上や困りごとを相談できる場の目的で活用できた。 児童の支援では、自主事業であるおやつ提供を介して子どもとのコミュニケーションを図ることで、日頃は気づけていなかった母の子育ての課題に気づけ、母へアプローチを行い、親子の関わりに変化があるなどの効果があった。また、退所児童にも柔軟に提供することで居場所として活用できた。法人で行う公益活動の場と一緒に参加し、配慮された場のなかで人との関わりをもったり、家庭で自分の思いを表出できない子どもが、短時間でも安心して自分の思いを語れる場を保障する意図で、子どもと職員の個別の日を実施することにより、自己肯定感の回復へと繋がった。 人材育成では、職員各々がキャリアアップの目標に沿って法人内、外部研修に参加した。研修で得た学びは、施設内や、利用者の地域の支え手である法人内の児童家庭支援センターと共有し、「地域における家族支援」「包括的な支援」の視点をもって活かすことができた。 施設整備においては、感染症に留意しながら、母子の安心安全な環境づくりに努めた。老朽化が著しい施設ではあるが、利用者の安心安全が保たれるように倉敷市と柔軟にやり取りし	

	ながら維持に努めた。 ボランティアの活用としては、前年度に引き続き、園芸療法士による季節の花や野菜の植え付けを利用者と一緒に行った。また、公益活動において学生ボランティアと関わる機会もあり、母と子にとって安心できる人との関わりがもてた。今年度は社会人ボランティアの登録もあり、施設の概要や入所者生活を理解して力を貸してくださった。 アフターケアでは、アフター支援担当を窓口として地域生活を見据え、関係機関と協働しながら施設内支援、退所前支援、退所後支援と、支援の過程を明確にすることにより、入所者や退所者に寄り添いの支援を心がけた。また、法人内児童家庭支援センタークムレと入所中から『地域における家族支援』の視点をもって入所者に関わり、退所後も地域で暮らす退所者を予防的視点をもって支援することができた。 その他、地域住民との関わりも、町内会行事や、町内会費持参時に交わす地域住民との会話の際に日頃から鶴心寮を見守ってくださる関係性が定着している。 また、権利擁護について所内研修で計画的に学びを深め、母子の権利擁護と生活の拠点となり、利用者に伴走する職員同士、お互いの支援観を認め合い、利用者支援の向上を目指し、風通しのよい職場の風土づくりに取り組んだ。
(3) アンケート結果の概要	利用者の自治組織を目指して毎月実施している母親、子どもの会で直接意見や要望を聞く機会を設けた。 行事等、寮内で行うことについても利用者の意見やアイデアを取り入れて実施した。 また、母親、子ども、それぞれに意見箱を設置しており、意見や要望、質問に随時対応している。

3 施設の利用状況

(1) 利用実績	<table><tr><th>月</th><th>4</th><th>5</th><th>6</th><th>7</th><th>8</th><th>9</th><th>10</th><th>11</th><th>12</th><th>1</th><th>2</th><th>3</th><th>計</th></tr><tr><td>世帯</td><td>4</td><td>5</td><td>6</td><td>6</td><td>6</td><td>6</td><td>5</td><td>5</td><td>5</td><td>5</td><td>5</td><td>5</td><td>63</td></tr><tr><td>入寮</td><td>1</td><td>1</td><td>0</td><td>0</td><td>1</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>1</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>4</td></tr><tr><td>退寮</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>1</td><td>1</td><td>0</td><td>0</td><td>1</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>3</td></tr></table> (世帯：各月初日在籍数 入・退寮：当該月中の入・退寮世帯数) ・入寮状況：入寮 4 世帯、退寮 3 世帯 ・一時保護実施状況：(県) 0 世帯 (市) 4 世帯	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	世帯	4	5	6	6	6	6	5	5	5	5	5	5	63	入寮	1	1	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	4	退寮	0	0	0	0	1	1	0	0	1	0	0	0	3
月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計																																												
世帯	4	5	6	6	6	6	5	5	5	5	5	5	63																																												
入寮	1	1	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	4																																												
退寮	0	0	0	0	1	1	0	0	1	0	0	0	3																																												
(2) 事業の内容	■ 自立支援業務 ・自立支援計画策定・再評価(利用者との面談により実施) ・就労支援(情報提供、ハローワーク同行とその間の子の預かり) ・生活支援(通院同行、登校支援、各種手続支援、家計管理、買物同行、健康管理等) ・子育て支援(養育相談、緊急時や母のストレス軽減目的の子の預かり) ・児童への支援(学習支援、遊びの支援、不登校児に対する支援、学校や要保護児童対策地域協議会、法人内との連携) ・その他、離婚・DV・家族間の問題に対する支援 ・アフターケア(行事への招待、来所・電話・訪問等による相談、就学支援、外国籍の方の相談・契約書等の作成、一時預かり等) ・臨床心理士によるケース会議、支援方針会議での自立支援へのスーパーバイズ子どもの行動観察 ■ 行 事 ・親の会、子どもの会、災害訓練、児童個別の日(毎月1回) ・誕生会(利用者該当月) ・寮内健康診断(年2回) ・年中行事、親子行事、自然体験、地域との交流行事等 ■ 一時保護等事業 ・県委託による緊急一時保護 ・市委託による緊急一時保護 ・トワイライトステイ ■ 施設管理業務 ・施設・備品等の小修繕等による施設整備及び清掃・除草等による環境整備 ・消防設備、非常通報装置等機器及び夜間警備を委託により実施																																																								

4 収支

(1) 収入 (指定管理者の収入)	総額 37,113 千円
	市からの指定管理料（委託料） 36,300 千円
	母子家庭世帯緊急一時保護委託料 591 千円
	経常経費寄付金収入 80 千円
	その他の収入 142 千円
(2) 支出 (指定管理者の支出)	総額 33,317 千円
	主な支出 人件費 24,955 千円
	光熱水費 1,103 千円
	施設管理委託費 4,153 千円
	土地建物賃借料 504 千円
	保守料 175 千円
	通信運搬費 365 千円
	研修費 339 千円
	事務消耗品 288 千円
	退職給付引当資産支出 401 千円
	その他経費 1,034 千円